

第 131 回八大学工学関連研究科長等会議議事録

日 時 平成 28 年 4 月 22 日 (金) 14:00～17:00
場 所 KKR ホテル東京 11F 孔雀の間
出席者 会員等 72 名 (研究科長等、副研究科長等、運営委員、陪席)
議題等

1. 報告事項

- (1) 第 130 回八大学工学関連研究科長等会議議事録確認
- (2) 第 5 回世界工学会議への参加・出展報告
- (3) 博士人材提言のフォローアップ活動報告
「理工系人材育成に関する産学官円卓会議」関連
- (4) 日英国際交流について

2. 協議事項

- (1) 今後の達成度調査の進め方について
- (2) 今後の博士フォーラムの進め方について
- (3) 提言「我が国の基礎研究力強化に向けて (案)」について
- (4) 今年度の八大学からの提言テーマについて

3. 講演

- (1) 講演 I ボーイングジャパン社講演
- (2) 講演 II 文部科学省高等教育局講演

4. その他

- (1) 今後の予定について

配布資料一覧

- 資料1 第 130 回八大学工学関連研究科長等会議議事録 (案)
資料2 第 5 回世界工学会議への参加・出展報告
資料3 理工系人材育成に関する産学官円卓会議 第 4 回
資料4 理工系人材育成に関する産学官円卓会議 第 5 回
資料5 八大学工学系連合会との意見交換会について
資料6 第 4 回日英工学教育シンポジウム開催準備状況
資料7 達成度調査の在り方検討と実施状況について
資料8 今後の博士フォーラムの進め方について
資料9 提言「我が国の基礎研究力強化に向けて (案)」
資料10 八大学工学系連合会の会長校・幹事校について (参考)
講演 I 資料 グローバルな視点からの人材育成・産学連携
講演 II 資料 『第 4 次産業革命』と理工系人材育成について

会 議 要 録

開会の辞

伊藤会長から開会の挨拶があった。

幹事校代表者挨拶

今回の幹事校である東京大学大学院工学系研究科の光石研究科長から挨拶があった。

議長選出

定款施行細則第 4 条の第 4 項に従って幹事校代表者の光石東京大学大学院工学系研究科長を議長に選出した。

日程説明及び配付資料確認

石原事務局長から、会議日程の説明及び配布資料の確認があった。

自己紹介

議事に先立って、出席者全員からの自己紹介を行った。

議 事

1. 報告事項

(1) 前回議事録確認 (資料 1)

第 130 回八大学工学関連研究科長等会議議事録 (案) を確認の上、承認した。

(2) 第 5 回世界工学会議への参加・出展報告 (資料 2)

昨年 11 月 29 日～12 月 2 日に京都国際会館で開催された世界工学会議 (WECC2015) について、八大学工学系連合会からの参加、総参加者数・3000 人強、発表・約 670 件、技術展示会出展・97 社、連合会からの出展 (連合会、各大学のパネル展示)、京都宣言 (Kyoto Declaration) の発表などが報告された。

(3) 博士人材提言のフォローアップ活動報告 (資料 3、4、5)

昨年秋の常設会議以降の提言フォローアップ活動について次の 3 件が報告された。

- ・伊藤会長より資料 3 に基づいて、昨年 10 月 22 日に開催された「理工系人材育成に関する産学官円卓会議 (第 4 回)」への八大学「博士人材育成に関する提言」の発表、および提案した「正の循環」が頻繁に引用されたなどの会議模様が報告された。
- ・東大・光石先生より資料 4 に基づいて、昨年 12 月 18 日に開催された「理工系人材育成に関する産学官円卓会議 (第 5 回)」への東京大学工学系からの「産業界・世界と連携した理工系人材育成」の発表、および「何を狙いに人材育成を進めるべきか」などの会議での議論模様が報告された。
- ・伊藤会長より資料 5 に基づいて、今年 2 月 10 日に開催した「文部科学省高等教育局専門教育課関係者と八大学工学系連合会との意見交換会」における、「理工系人材育成に関する産学官円卓会議の行動計画 (案)」に関する意見交換・議論の様子が報告された。

(4) 日英国際交流について (資料 6)

東工大・岩附先生より資料 6 を用いて、今年 8 月 5 日～8 日開催予定の第 4 回日英工

学教育シンポジウムの準備状況が説明された。今後、東工大より各大学に参加案内があるとのアナウンスがあった。

2. 協議事項

(1) 今後の達成度調査の進め方について（資料 7）

伊藤運営委員長より資料 7 に基づいて、運営委員会・達成度調査分科会（主査：北大・増田先生）で前年度に行った「達成度調査のあり方」に関する検討結果が報告された。当面、検討結果のとおり「達成度調査のプラットフォームは連合会が維持し、各大学にて達成度調査の必要性を判断に基づいて、自学の調査報告書作成費を負担する形で大学の実情に合わせた達成度調査の実施・必要性の吟味を進める。」という方針で進めながら今後の対応を決めていくこととなった。

(2) 今後の博士フォーラムの進め方について（資料 8）

光石議長の「博士フォーラムについても前年度に内容の抜本の見直しが行われた。」との紹介に続いて、運営委員会・博士フォーラム分科会主査（阪大・基礎工・田中先生）より、資料 8 を用いて、「八大学の教員が幹事校の博士課程学生の意見・要望を聞き各大学での教育改革に活かす」という新しい形式の博士フォーラムの企画・実施結果の報告があった。また、幹事校の阪大・河原先生、フォーラムに参加した伊藤会長より、新しい方式の有効性と可能性に関するコメントがあり、今年度は幹事校の九州大学にさらに工夫を加えたフォーラムを企画・実施してもらうこととなった。

(3) 提言「我が国の基礎研究力の強化に向けて（案）」について（資料 9）

光石議長からの昨年度 1 年間の提言の検討経緯の紹介に続いて、事務局より資料 9 に基づいて「我が国の基礎研究力の強化に向けて」の説明、および、午前の工学部長会議において指摘を受けた修正点の紹介があった。協議の結果、本日の両会議での指摘点を修正することを条件に本案を承認し、今後、对外発表や外部との意見交換などのフォローアップを進めることとした。

(4) 今年度の八大学からの提言テーマについて

八大学で今年度手掛ける提言のテーマについて、光石議長より、午前の工学部長会議での意見の紹介、当会議メンバーからの事務局へのテーマ提案の依頼が行われ、これらを受けて今年度も運営委員会において提言の検討を進めてもらうこととした。

3. 講演会

(1) ボーイングジャパン株式会社、政府関係・渉外担当ディレクターの小林美和様より、「グローバルな視点からの人材育成・産学連携」と題して講演があり、活発な質疑応答が行われた（講演 I 資料）

(2) 文部科学省高等教育局専門教育課の北山課長から、「『第 4 次産業革命』と人材育成について」と題して講演があり、活発な質疑応答が行われた。（講演 II 資料）

4. 今後の予定について

- (1) 参考資料 10 に基づいて光石議長より今後の幹事校、会長校の紹介があった。
- (2) 次回の常設会議について、幹事校の北海道大学・名和工学研究院長より、本年 9 月 30 日（金）札幌京王プラザホテルで開催予定とのアナウンスがあった。
- (3) 次々回の常設会議について、幹事校の東工大・岩附工学院院长より、来年 4 月 21 日（金）に KKR ホテル東京にて開催予定とのアナウンスがあった。
- (4) 光石議長より、本日の定時社員総会をもって伊藤会長が退任され、引き続き会長校である京都大学から北村研究科長が会長に就任されるとの紹介があった。
- (5) 伊藤前会長より退任の挨拶があり、全員の拍手でもって伊藤先生への謝意を表した。
- (6) 北村新会長より就任の挨拶があり、拍手でもって連合会の牽引役をお願いした。

以上をもって、第 131 回八大学工学関連研究科長等会議を終了し、光石議長が閉会を宣言した。

以上